

議会だより

題字：飯田小学校のみなさん

撮影者 森町フォトクラブ
長谷川 宏 氏
撮影場所 森町亀久保

《主な内容》

臨時会・定例会の概要

2～3ページ

一般質問

4～7ページ

幼児教育と保育の在り方は 他

議会研修報告

7ページ

発行 静岡県森町議会

議会の新体制

議長	中根 幸男	第一常任 委員会	◎岡戸 章夫
副議長	吉筋 恵治		○川岸和花子
議会運営 委員会	◎亀澤 進		亀澤 進
	○吉筋 恵治		中根 幸男
	西田 彰	平川 勇	
	加藤 久幸	清水 健一	
監査委員 (議会選出)	中根信一郎	第二常任 委員会	◎加藤 久幸
			○西田 彰
			吉筋 恵治
			中根信一郎
			佐藤 明孝
			増田 恭子

◎は委員長 ○は副委員長

5月臨時会の概要

森町議会は、5月臨時会を7日に開催し、議長・副議長の選挙、監査委員の選任、各委員会委員の構成替え等を行いました。また、一般会計補正予算(新型コロナウイルス対策等3830万円)等について審議し、賛成全員で可決しました。

組合議会の新体制

組合議会名	議員	
中遠広域事務組合	西田 彰	川岸和花子
東遠学園組合議会	加藤 久幸	
養護老人ホームとよおか管理組合議会	亀澤 進	
袋井市森町広域行政組合議会	中根 幸男	岡戸 章夫
	佐藤 明孝	
太田川原野谷川治水水防組合議会	中根信一郎	平川 勇
中東遠看護専門学校組合議会	清水 健一	増田 恭子

新議長挨拶

町民の皆様には、日頃より町議会へのご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

令和3年4月の町議会議員選挙後の初議会(5月臨時会)において、議員各位のご推挙を賜り、議長に就任させていただくことになりました。その責任の重さに、身の引き締まる思いであります。

さて、昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済や社会生活に大きな影響が出ています。ワクチン接種や治療薬により、収束に向かうことを願っております。

こうした中、森町では、人口減少や少子・高齢化が進んでおり、子育て支援と高齢化社会への対応、産業振興と企業誘致、保健・医療・福祉の充実、消防・防災、教育環境の整備等、多くの課題が山積しております。

このため、より開かれた公平で公正な議会運営と、二元代表制の下、町と議会が車の両輪となって、伝統・文化を守りつつ、森町の発展を目指し、「女主で住みよいまちづくり」に取り組んで参る所存であります。

町民の皆様には、今後とも議会へのご理解と町政に対するご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

第28代議長 中根 幸男



6月定例会の概要

子育て世帯生活支援特別給付金及び
子育て応援給付金（町単独） 3000万円

新型コロナウイルスワクチンの接種会場
旧泉陽中学校体育館に常設



定例会の
動画配信

森町議会は、6月定例会を8日から25日までの会期18日間で開催し、当局から提出された人事1件、条例7件、補正予算4件、一般議案2件など14議案を審議し、賛成全員で可決しました。

人事

森町固定資産評価審査委員会委員の選任

委員に西谷ひろみ氏（下飯田）を選任することに同意しました。任期は令和3年6月19日から3年間はです。

条例

森町個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例 ほか6議案を可決しました。

補正予算

令和3年度森町一般会計補正予算（第3・4号）

補正額 1億7125万3千円
総額 82億4808万1千円

黒石上バス停整備事業

（補正第3号 338万円）

子育て世帯生活支援特別給付金

（補正第3号 1500万円）

ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯に対し、給付する。一人当たり5万円の給付で、対象児童数300人（見込み）

子育て応援給付金

（補正第3号 1500万円）

低所得の子育て世帯（ひとり親世帯分及びその他世帯分）に対し、町が単独で特別給付する。一人当たり3万円の給付で、対象児童数500人（見込み）

新型コロナウイルスワクチン接種事業費

（補正第3号 4401万6千円）

山村振興地域茶業振興整備事業補助金（乗用型摘採機外）

（補正第3号 653万4千円）

町道太田川右岸2号線の舗装修繕事業費（飯田地内）

（補正第3号 3650万円）

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費

（補正第4号 600万円）

旧泉陽中学校の体育館を常設接種会場とするための整備費

令和3年度森町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 7257万5千円

総額 7億1413万6千円
内容 天宮（川久保地区）下水道管渠等の整備

ほか 令和3年度森町国民健康保険特別会計補正予算

一般議案

物品売買契約の締結について
・消防ポンプ自動車1台の売買契約の締結を承認

契約先 静岡森田ポンプ（株）
契約金額 2029万5千円
更新場所 第2分団

・旧周智高校機械実習棟内に設置する書棚購入の売買契約の締結を承認
契約先 第一工業（株）

契約金額 1375万円
内容 書棚の整備



加藤 久幸

脱炭素社会に向けた町の取組みは



加藤 近年、地球温暖化が原因とみられる異常気象により、豪雨や猛暑日の発生頻度が増加しているなか、国内外においては脱炭素社会への移行に向け、急速に舵が切られようとしている。

次の3点について伺う。

- ① 2050年カーボンニュートラルを目指して、ゼロカーボンシティ実現に向けた町の取り組みと現状は。
- ② 自然災害による停電時に、EV(電気自動車)を活用したらどうか。
- ③ 町のインフラ整備の一環で、EVの急速充電器を設置・促進したらどうか。

町長 ①町がゼロカーボンシティ表明をする場合には、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定が必要となる。制度設計、財源の確保など多くの課題が考えられることから、他の自治体の動向も注視し、調査研究を重ねていきたい。

②個人でできる災害への備えとして、EVは大変有効な手段であると考えている。しかし、EV等の駆動用バッテリーから大きい電力を取り出すためには、外

部給電器もあわせて整備する必要があり、費用対効果の面が課題である。

③EVで森町に安心して立ち寄っていただくための手段の一つとして、急速充電器の設置は有効な面もある。しかし、設置・運営には多くの経費が必要となる。今後は、民間事業者による充電器の設置促進を図るとともに、今後のEV普及状況や要望等も聞きながら検討していきたい。

*ゼロカーボンシティ：国が2050年に酸化炭素排出ゼロを目標に掲げて、排出量実質ゼロに取り組むことを表明した地方自治体のこと



世界で大気汚染が進む様子(参考)

町政を問う ～一般質問～



吉筋 恵治

「名誉町民」認定の行方は



吉筋

森町出身の書家、杭迫柏樹氏は、日本芸術院賞、紺綬褒章、本年2月には、京都府文化賞特別功労賞、同年4月に旭日小綬章などを受賞。また、全日本書道連盟顧問や日中文化交流協会常任委員など、60年に渡り活躍をされ、当町においても、役場庁舎をはじめ、「町民憲章」や「森町の賦」石碑の揮毫など、多大な貢献をされてこられた。

今まで以上の当町の文化・教育指針の向上の一つとして、杭迫柏樹氏に「名誉町民」認定をすべきと考えますが、町長の考えを伺う。



「森町の賦」



「ええら森町」

町長

先日、遠江総合高等学校同窓会長から、「杭迫氏の森町『名誉町民』の推薦要望書」が提出されている。これまで作品受贈の都度、町として杭迫氏に感謝状や善行表彰など感謝の意を表している。

森町の表彰条例は、功労表彰と善行表彰としており、「名誉町民」認定には、条例制定が必要となる。杭迫氏の功績に対し「名誉町民」称号の贈呈が良いのか、あるいは他にふさわしい方法があるのか、検討したい。



佐藤 明孝

犯罪被害者支援条例の 制定を

制定を



佐藤

平成27年4月に静岡県犯罪被害者支援条例が制定、施行された。近隣の磐田市では令和3年3月に制定され、掛川市は制定する方向で調整されている。森町は制定されていないが、犯罪は何処でも起こりうるリスクを背負っている。

森町においても、犯罪被害者の心・情面・経済面をフォローする意味からも、本条例の制定が必要であるが、当局の考えは。

町長

森町の犯罪被害者支援については、役場総務課に犯罪被害者等支援総合案内窓口を設置して、相談等に対応している。また、担当課長や森町病院医事課長等を構成員とした、袋井警察署犯罪被害者支援連絡協議会が組織され、被害者救済に努めている。県内では、令和3年4月現在県下35市町中8市町が条例を制定している。

森町では大きな事故・事件は発生していないが、犯罪被害者に寄り添うため、条例の制定は有用と考えられるので、検討していきたい。

今後の犯罪・交通事故等防止活動の取組は

佐藤

令和3年3月をもって、園田・飯田・三倉各駐在所が廃止されたが、それに伴う各種事件・事故防止に取組む考えや姿勢は。

町長

犯罪防止活動について、森町では詐欺電話等に対し、同報無線や町内回覧、ちゃっとメール等を通じ注意喚起を実施。また、袋井警察署主催の袋井警察署協議会員として、情報収集等にも努めている。その他、各町内会の申請によりLED防犯灯を設置して、防犯対策事業も推進している。また、学校の登下校防犯プランに基づき、警察、教育委員会、各地域等で防犯意識の高揚に向けた取組を実施している。交通事故防止活動については、袋井警察署をはじめ、交通安全に携わる各関係機関や団体で、県交通安全対策協議会より示されるスローガンに沿った活動を計画、実施している。

町政を問う ～一般質問～



岡戸 章夫

コロナワクチンの 接種状況は

接種状況は



岡戸

4月25日からワクチン接種が開始されたが、予約が取れないとの声もあるため、検証を含め経過を伺う。

町長

65歳以上高齢者6507人に対し、4月上旬に接種券を送付した。初回は900回分で供給量が少なかつたため、すぐに予約が終了した。5月1日の予約4000回分からは、電話回線を4回線から6回線に増設すると共に、LINE予約支援等も行い、大幅に状況が改善した。ワクチン集団接種は、6月19日までに9回行い、概ね順調に実施できている。

8月以降は接種会場を旧泉陽中学校に固定し、スムーズに接種を進める。6月19日時点で、1回目接種者は37%、2回目接種者は14%である。供給量に左右されることや、国の方針も日々変化し、見通しが付きにくい状況だが、全庁をあげて対応したい。

岡戸

政府は7月末で、高齢者向け接種の完了を目標としたが、森町の見通しはどうか。

町長

県が掛川市内で実施する集団接種分や個別接種分も含め、接種率80%で、希望する高齢者には、2回目接種が7月末までにほぼ完了すると考える。

岡戸

進捗状況が分からないため、町民は不安や不満を抱くので「ワクチン接種特設サイト」を設け、全体像が見える情報発信をするのはどうか。

町長

混乱を避けるため、正確な情報提供が必要であるが、国の方針が日々変化することから、直近の情報しか提供できない。今後情報の内容によって、伝達手段を選び、分かりやすい情報提供に努めていく。



接種会場の様子 (天方)



西田 彰

学校給食 完全無償化の実現を



西田

町議選に当たり、独自で町民アンケートを実施した。給食無償化の声が3割近くあった。町では食料費を負担(一部世帯では補助、免除)しているが、すでに御前崎市、小山町では実施している。給食の現状は、負担等は。

町長

幼稚園、小・中学校合わせて一日最大1900食分の学校給食を調理している。係る経費は、令和2年度実績で年間約1億5600万円。内、保護者の負担額は、約7400万円。一年間の保護者負担額は、園児一人約2万2000円、小学生一人約4万5000円、中学生一人約5万2000円。保護者負担費用の軽減策として、一定条件に該当する小・中学生の世帯には「就学援助費」「特別支援教育就学奨励費」、幼稚園児の世帯には「給食費の一部の減額」をし、支援を行っている。

西田

無償化実現への問題点、課題は。

町長

財政上の課題や、無償にする中で保護者の「食育」への関心の低下、無償化による効果などのように把握するかなど課題がある。

学校給食の運営は、設置者として自分の負担をしていること、一定条件の保護者には負担軽減を実施していることから、受益者負担の原則に基づき、今後も保護者に負担をお願いしていく。



楽しく給食を食べる様子(町外施設)

町政を問う ～一般質問～



川岸 和花子

幼児教育と保育の在り方は



川岸

森町においても、幼稚園より保育園の入園希望が増加している。今後の保育園・幼稚園の在り方は。

町長

令和3年4月1日現在、11人の待機児童がいる。保育所の受け入れ児童数の増加を図るため、保育士宿舎借り上げ支援事業や、町内2幼稚園において、預かり保育の時間を18時まで延長し、実施している。

幼稚園・保育園の今後の在り方として、現在は保育需要が多く待機児童が発生しているが、出生数が減少傾向にある。そのため、新たな施設を設置するについては、慎重に進めていく必要がある。今後は、幼稚園・保育園の窓口一本化を図るため、仮称「健康・とも課」の来年度設置に向けて準備を進めるとともに、今後の施設の在り方についても検討していく。

川岸

発達障害「自閉症」へクラム障害「ASD」学習

町長

森町も構成市町になっている障害へLD「注意欠如・多動性障害」ADHD」の可能性のある未就学児の子供たちが増えている。その支援と将来へのサポートは。

町長

森町も構成市町になっている「東遠学園組合」が、「児童発達支援事業」を行っている。東遠学園組合では、対象者が増加していることに対応して、親子通園・毎日通園・並行通園・訪問型小集団療育・保育所等訪問支援事業を行う「こども発達支援センター」を森町に開設する予定である。

森町では将来的なサポートとして、専門的療育を実施し、社会へ巣立ち自立するまで切れ目のない支援をしていきたい。



こども発達センター「めばえ」



療育の様子



中根 信一郎

地域公共交通の改善策は

改善策は



中根信 三倉・天方地区では、秋葉バス(民間)・町営バス・患者バスと三種類の交通手段があるが、一本化する考えはあるか。

町長 現在、三倉地区には、秋葉バス(民間)と、NPO法人やまゆり三倉による大河内線(町営バス)のほか、森町病院による患者バス等の交通機関がある。また、天方地区には、秋葉バス(民間)と、(株)アマガタによる吉川線(町営バス)がある。

公共交通機関については、民間事業者と町の委託による町営バスが適切な役割分担と連携をすることで、地域全体の移動手段を確保している。今後、森町地域公共交通計画を推進し、地域の実情にあった交通環境の整備に努めていきたい。

中根信 町全体に地域公共交通網を整備する考えを伺う。

町長 平成30年3月に「森町地域公共交通計画」を策定、副

題を「公共交通を中心とした移動支援計画」とし、それぞれの対象者にとのような支援が可能か、事業の区分を3つに分けて整理した。一つ目は、公共交通の利用者を増やす事業。二つ目は、公共交通を利用しやすくする事業。三つ目は、公共交通の利用が困難な人を支援する事業と整理した。

直近では、三つ目の公共交通の利用が困難な人を支援する事業として、「乗合アマンダタクシー」の研究検討を開始した。実現に向けては、制度の周知、対象地区の選定、受託可能な事業者の選定、財源の確保等、課題の解決に向け、実情にあった事業となるよう推進していきたい。



町営バスと秋葉バスのバス停



町営バス

町政を問う ～ 一般質問 ～

議会研修報告

実施日 6月21日(月)
テーマ 「小山町での挑戦」
講師 神奈川県 南足柄市役所
企画部 都市部 教育部 参事
(元 小山町まちづくり専門監)

溝口 久氏

主催 行財政問題(課題)研究会

内陸フロンティアを拓く取組の一環として、国・県の補助金やふるさと納税を活用しながら、大規模な工業団地造成、PFIを活用した地域優良賃貸住宅の建設や足柄駅舎等の建造物の再生など、事業遂行の過程を伺った。特に、総額12億円をかけた富士紡績の遺産興業遺産活性化プロジェクトの豊門公園の大改修、森村橋の再現にあたっては、小山町の発展の歴史と、歴史的価値を残していこうという熱い思いを感じた。

町の活性化のためには、まずは町が持っているポテンシャルや魅力・特徴をしっかりと分析し、財源の確保の仕方を研究すること。また、民間とも協

力をしながら、揺るぎない決意で町長が先頭になって進めていくことが重要である。

(執筆 川岸 和花子)



研修会の様子

*行財政問題(課題)研究会…議会の責務である行政運営の推進と監視機能を遂行するため、議員全員で組織された研究会

*PFI…公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間のノウハウ等を活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うこと

みんなのこえ

森町フォトクラブ

当クラブは、写真が大好きという仲間が集まり、平成7年に結成され、森町文化協会に加入しました。18名から始まった会員数が、現在27名まで増えてきました。

年2回の撮影旅行（現在はコロナ禍のため休止）と、年2回の会員作品展（38回まで達しました）、2か月に1回の定例会。ここでは、諸連絡・報告と会員による写真の互選会を行い、優秀作品の評価と表彰を行っています。互いの作品を見ることにより、対象の捉え方や感覚を磨き、資質の向上に努めています。

自然の美しさ、表情のおもしろさ、緊張の瞬間、それぞれの撮り方で楽しんでいきます。いつでも入会歓迎です。連絡を待っています。



連絡先
代表 武藏島 尚
電話 0538-85-2794

もりまち議会だより第88号
令和3年(2021年)8月15日発行

議会を聴きに来ませんか。

6月議会では、のべ16人の方が、議会へ足を運んでくださいました。傍聴の予約は必要ありません。手続きも簡単です。議場は3階ですので、是非お越しください。なお、議会の模様をYouTubeにて配信しています。こちらをご覧ください。



YouTube
森町議会

表紙の題字は、飯田小学校の皆さんが書いてくれました。



かたおか 片岡 居城
よつば 葉 葉 葉
はらだ 原田 一木
わかな 和奏 信太郎
かざま 風間 梢
はづき 葉月 絆愛

< 9月定例会の予定 >

9月1日(水) 本会議 初日
9月7日(火) 本会議 2日目
9月10日(金) 常任委員会
9月17日(金) 本会議 一般質問
9月22日(水) 本会議 最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。
※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

森町折々の写真を募集中!

議会だよりや議会ホームページで使用する写真やイラストを募集しています。詳しくは議会ホームページを御覧いただくか、事務局までお問合せください。

【問合せ先】
森町議会事務局 (本庁舎3階)
〒437-0293 周智郡森町森2101-1
電話 0538-85-6329
メール morimachi.gikai@gmail.com



募集について

ひとこと

熱海市の大規模土石流災害を目の当たりにして、森町にも数多くの土砂災害警戒区域があることを再確認しました。このような有難い際に議員として何ができるのだろうか、真っ先に協力できることはなんだろうか、考えさせられます。また、常に住民各自がハザードマップや避難場所を頭に入れ、災害に備えておくことが重要と感ずります。

六月に初めての定例会を経験しました。議員として防災対策は勿論のこと、少子化、人口減少の対策を第一の課題として、議会に提案していきたいと考えております。(一・平川)

委員長 吉 筋 恵 治
副委員長 川 岸 和 花 子
委員 長 川 平 川 勇
委員 佐 藤 明 孝
委員 清 水 健 一
委員 増 田 恭 子
発行責任者 議 長

発行 静岡県森町議会
編集 議会だより編集委員会

〒437-0293 静岡県周智郡森町森2101-1
TEL 0538-85-6329 FAX 0538-85-6044
https://www.morimachigikai.com/
E-mail: morimachi.gikai@gmail.com